



ホーム ホーム 暮らし 観光・レジャー ビジネス・産業 愛知県政

ホーム 観光・レジャー 文化芸術の振興 文化財 お知らせ

印刷用ページを開く

平成25年度 活動報告

[2014年3月24日]

平成25年度の様々な活動報告

埋蔵文化財調査センターの発掘調査以外の様々な活動について随時報告していきます。

3月24日(月曜日)更新 当センターでは団体見学や各種研修の受け入れもしています。是非ご利用ください。

調査研究課の伊奈です。

当センターでは**団体見学**や**各種研修**の受け入れもしています。

今年度も高校生や一般の方のサークルなど、いくつかの団体が当センターを見学されました。一般の方に少しでも**埋蔵文化財**について知っていただきたいと**普及啓発**にも力を入れています。団体見学の場合は事前に連絡を頂ければ、日程を調整して対応いたします。（ご希望にそえない場合もあります。）多くの皆様に当センターを活用していただけたらと思っています。

以下、今年度実施された研修会の一部をご紹介します。

尾張地区高等学校地理歴史・公民科教育研究会の研修 10月25日（金）実施

尾張地区の高校の**地理歴史科**の先生方が来館されました。当センターの仕事についての説明をした後、館内を見学してもらいました。研修の最後には、時代の異なる**土器**を時代順に並べるゲームを体験してもらい、**埋蔵文化財**を授業に生かす授業案を紹介しました。学校の授業に役立てていただければ幸いです。



当センターの説明と館内見学



展示説明（左）と木製品処理の見学（右）



土器並べゲーム（左）と土器の観察（右）

高等学校地歴科初任者研修 11月12日（火）実施

愛知県立高等学校の地歴科の新任の先生たちが来館されました。埋蔵文化財についての説明をした後、収蔵庫や科学分析室見学など普段は目にすることの少ない埋蔵文化財調査の一端も紹介しました。この研修を少しでも学校の授業で役立てていただければと思います。



研修室での説明



科学分析室見学（左）と収蔵庫見学（右）

ここで紹介した見学は、何れも高校の先生方の研修会ですので、それぞれの学校で生徒さんたちに当センターや埋蔵文化財について紹介していただけたらと思います。今後も当センターを活用していただければ大変嬉しいです。

資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日(月-金)の午前9時から午後4時まで公開しています。(無料)
- ※ 2階事務室にお越しください。
- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。(電話 0567- 67-4164)
- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。
- ・ 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

なお、今回紹介しましたような施設の見学を希望される方は、ご相談ください。

1月15日（水曜日）更新 11月と12月に愛知県立熱田高校で出前授業を行いました。

調査研究課の小澤です。

当センターの活動のひとつである普及啓発活動の一環として、[愛知県立熱田高等学校](#)にて出前授業をおこないました。11月11日（月）と12月2日（月）の2日間、[日本史B](#)と[総合的な学習の時間](#)でそれぞれ2時間ずつ実施しました。

[日本史B](#)では「[長篠の戦いを通し、織田信長が天下統一をなした要因を考える](#)」というテーマで長篠の戦いを経済的な側面から絵画資料、火縄銃のレプリカ、[出土遺物](#)などを使用し歴史を実感してもらいました。もう1時間は「[清洲城下町遺跡の発掘から戦国末～江戸初期を考察する](#)」というテーマで、[清洲城下町遺跡の発掘調査](#)から、発掘調査の方法や調査でわかることなどの説明を行い、ここでも実際に[出土した遺物](#)を手にしてもらうことで歴史を実感してもらいました。どちらの授業も生徒に対して、教科書の記述だけでなく、様々な視点から歴史を観ることを示すことができたのではないかと思います。



「長篠の戦いを通し、織田信長が天下統一をなした要因を考える」



「清州城下町遺跡の発掘から戦国末～江戸初期を考察する」

総合的な学習では「土器の分類－土器・ど・キットの使用－」と「拓本実習」を行いました。

「土器・ど・キット」は実際に遺跡から出土した縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、近世陶器などの破片をひとまとめにしたものです。これを使用して土器を時代順に並べてその器形や技術の違いを観察してもらいました。生徒の皆さんはこれまで学習してきたことを振り返りながらグループで相談して並べていました。最後に破片でなく完全な形の土器をみてもらいました。

「拓本実習」では土器に施された文様を拓本で写し取る作業をおこないました。作業の前に拓本についての解説をおこないました。そして、これまで学習してきた内容の中で、拓本によって写し取られた資料を示しながら拓本資料の意義などに触れました。拓本実習では朝日遺跡から出土した約2000年前の弥生時代の土器片を使用しました。最後に写し取った拓本でしおりをつくってもらいました。

出前授業は、「実物・本物を見て、さわることで歴史を実感する」が主なテーマです。生徒の皆さんの実物にさわるときの表情が嬉々としていたことがとても印象に残っています。今後もこのような活動を続けていきたいと考えています。



「土器の分類－土器・ど・キットの使用－」



「拓本実習」

9月26日（木曜日）更新 半田市の小中学校の先生方の研修会で遺物を使った授業を紹介しました。

調査研究課の伊奈です。

8月20日(火)に半田市の小中学校の先生方を対象とした体験型教員研修会が催されました。以前、当センターに勤務していた乙川東小学校の榊原教諭から、センターが保管する資料(遺物)を使った授業を提案してほしいとの依頼があり、土器を時代順に並べて歴史や文化を考察する「土器・ど・キット」を使った授業を紹介しました。

初めに、遺跡の発掘について、清洲城下町遺跡の調査を例として電子黒板に写真を映し、実際の発掘作業の様子を見てもらいました。その後、「土器・ど・キット」を使って土器並べを体験してもらいました。当日参加された先生方の多くが土器に触るのが初めてで、興味深そうに土器を取り上げ、グループのメンバーと相談しながら時代順に並べていました。答え合わせをしながら土器の説明をして、授業での遺物の利用法や当センターの見学について紹介しました。

また、榊原教諭からは、蠟を使った銅鏡作りの紹介がありました。粘土で型を作って溶かした蠟を流し込み、思い思いの絵柄をつけて完成させます。出来上がった「銅鏡」はなかなかの出来栄でした。

当日参加された先生方のお一人からは、「本物(実物)のもつ教材としての力(すばらしさ)をあらためて感じた。それらに実際に触れ、体験させることによって、心に残る感動的な授業を実現させていきたいと思える研修会だった。」との感想をいただきました。是非埋蔵文化財を利用した授業に取り組んでいただき、当センターを活用していただきたいと思います。



蠟を使った銅鏡作り



「土器・ど・キット」を使った土器並べ



時代順に並べられた土器

(上から縄文土器、弥生土器、須恵器(古墳時代)、灰釉(かいゆう)陶器(古代)、山茶碗(中世)、古瀬戸の陶器(戦国・安土桃山)、近世陶器(江戸時代))

当センターでは、保管している土器や石器などを使った「出前授業」を実施しています。また、先生方に資料を使った授業を行っていただけるよう、「資料の貸出し」も行っています。(「資料の貸出し」には、資料の扱い方を知っていただく必要があります。)ご希望があれば下記までご連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター (担当 伊奈)

所在地 〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24

電話 0567-67-4164 FAX 0567-65-1841

9月12日(木曜日)更新 高校生に「職業人インタビュー」を受けました。

調査研究課の伊奈です。

8月に津島市の清林館高校1年生の生徒さん2人から「職業人インタビュー」の依頼がありました。夏休みの課題とのことで、出勤時間、通勤時間、始業・終業時間、仕事内容、一日の流れ、仕事で楽しいと感じる時、仕事で大変なこと、仕事に必要な資格、この仕事を選んだ理由などの質問がありました。

こちらからも、なぜ当センター職員へのインタビューを思いついたのかを聞いてみたところ、2人とも、考古学や遺跡発掘に興味があって、将来はそれに関わる仕事に就きたいとのことでした。

インタビューが終わった後、当センターで開催していた『考古楽市2013』の展示や、遺物収蔵庫、図書室などを見学してもらいました。更に遺物整理室で実測やトレース、遺物の接合などの作業の様子も見てもらいました。

将来の職業を考える上での参考にしてもらえたらうれしく思います。来年は是非「考古学サマーセミナー」に参加してくれることを期待しています。



展示遺物の見学



左：当センター所長から展示説明
右：遺物に触れるコーナー